



2021年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年1月13日
東

上場会社名 株式会社アクアライン 上場取引所
 コード番号 6173 URL <http://www.aqualine.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大垣内 剛
 問合せ先責任者(役職名) 財務・経理部長 (氏名) 平野 真生 (TEL) 03-6758-5588
 四半期報告書提出予定日 2021年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第3四半期の連結業績(2020年3月1日~2020年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第3四半期	4,297	△3.4	△407	—	△400	—	△272	—
2020年2月期第3四半期	4,451	3.8	△99	—	△101	—	△74	—

(注) 包括利益 2021年2月期第3四半期 △328百万円(—%) 2020年2月期第3四半期 △74百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第3四半期	△135.05	—
2020年2月期第3四半期	△36.52	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年2月期第3四半期	2,818	1,369	30.6
2020年2月期	1,906	1,157	60.7

(参考) 自己資本 2021年2月期第3四半期 862百万円 2020年2月期 1,157百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年2月期	—	0.00	—	—	—
2021年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年2月期の連結業績予想(2020年3月1日~2021年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,286	4.6	△150	—	△159	—	△171	—	△85.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 1社(社名) 株式会社E P A R Kくらしのレスキュー、除外 1社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年2月期3Q	2,032,600株	2020年2月期	2,032,600株
② 期末自己株式数	2021年2月期3Q	36,316株	2020年2月期	269株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年2月期3Q	2,015,730株	2020年2月期3Q	2,032,331株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、個人消費や経営活動が大幅に制約を受け景気が悪化しております。このところ持ち直しの動きも見られたものの、感染者数の増加傾向が見受けられ今後も先行きは予断を許さない状況が続いております。

当社グループを取り巻く経営環境につきましては、少子高齢化という人口構造の変化により、新規住宅着工戸数の減少が予測されており、既存住宅の平均築年数は上昇しております。そのため、住宅の老朽化と共に、水まわりのトラブルを含む住宅の不具合は増える傾向にあります。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言発令期間中におきましては緊急を要しない修理依頼の減少が生じました。

このような環境のもとで、当社グループは、生活救急サービスを検索できるポータルサイト「E PARK 暮らしのレスキュー」(旧・E PARK レスキュー)の運営、様々な検索ポータルサイトとの連携を実現した店舗・施設向けホームページサービス「ローカルプレイス」のうち生活救急領域の広告販売を行っている株式会社E PARK 暮らしのレスキュー(旧・株式会社E PARK レスキュー)の株式を取得し子会社化いたしました。

当第3四半期連結累計期間は、主力事業であります水まわり緊急修理サービス事業では、緊急事態宣言発令期間中におきまして緊急性を要しない修理依頼の減少が生じましたが、解除後の6月以降は新型コロナウイルス感染症拡大前の水準へと回復いたしました。新型コロナウイルス感染症対策に努める一方で、8月以降中途採用活動に注力し現場サービススタッフの採用数は計画を大幅上回りました。ミネラルウォーター事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により販売が大きく落ち込みましたが、徐々に回復へ進んでおります。フィットネス事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、パーソナルトレーニングジムの営業を自粛いたしましたが、現在は営業を再開しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高4,297,895千円(前年同期比3.4%減)となりました。営業損失は、のれん償却額の計上等により407,606千円(前年同期は99,382千円の営業損失)、経常損失は400,456千円(前年同期は101,191千円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は272,225千円(前年同期は74,210千円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメントごとの状況は次のとおりであります。

- ・水まわり緊急修理サービス事業

緊急事態宣言発令期間中におきまして緊急性を要しない修理依頼の減少が生じましたが、解除後の6月以降は新型コロナウイルス感染症拡大前の水準へと回復いたしました。新型コロナウイルス感染症対策に努める一方で、8月以降中途採用活動に注力し現場サービススタッフの採用数は計画を大幅上回りました。採用後の研修・教育、業務提携先との関係強化にも注力いたしました。

以上の結果、当事業の売上高は3,737,225千円(前年同期比1.3%減)、営業損失は258,639千円(前年同期は119,596千円の営業損失)となりました。

- ・広告メディア事業

生活救急サービスを検索できるポータルサイト「E PARK 暮らしのレスキュー」(旧・E PARK レスキュー)の加盟店募集に注力いたしました。

以上の結果、当事業の売上高は93,743千円、営業損失は159,711千円となりました。

- ・ミネラルウォーター事業

新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、特にホテル、大学等への販売が大きく落ち込みましたが、徐々に回復へ進んでおります。以上の結果、当事業の売上高は431,684千円(前年同期比30.8%減)、営業利益は18,295千円(前年同期比42.2%減)となりました。

- ・フィットネス事業

健康志向の高まりを背景に水まわり緊急修理サービス事業で培った「サービス力」を活かしてパーソナルトレーニングジムを2店舗運営しております。新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、営業を自粛いたしましたが、現在は営業を再開しております。

以上の結果、当事業の売上高は35,242千円(前年同期比15.0%減)、営業損失は7,579千円(前年同期は13,397千円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産の額は、前連結会計年度末に比べ911,186千円増加し、2,818,075千円となりました。これは主に、のれんが830,355千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の額は、前連結会計年度末に比べ699,129千円増加し、1,448,116千円となりました。これは主に、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が522,089千円、短期借入金100,000千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の額は、前連結会計年度末に比べ212,057千円増加し、1,369,959千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による利益剰余金が減少したものの、非支配株主持分が506,973千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月期の通期の業績予想につきましては、2020年7月14日付の「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」で公表しました内容に変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大状況が現状以上に悪化せず、消費動向は徐々に回復の方向に進みながらも、今期中は影響が残ることを前提としております。但し、2020年12月頃から同感染症の感染者数が増加傾向にあり収束時期の見通しは立たず、現時点ではその影響を合理的に見積もることが困難であるため織り込んでおりません。今後、開示すべき事象が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	729,735	741,773
売掛金	365,515	426,708
商品及び製品	10,916	11,392
原材料及び貯蔵品	148,626	166,266
その他	174,616	56,773
貸倒引当金	△834	△929
流動資産合計	1,428,575	1,401,985
固定資産		
有形固定資産	319,907	317,114
無形固定資産		
のれん	—	830,355
その他	32,901	67,364
無形固定資産合計	32,901	897,720
投資その他の資産		
その他	134,960	210,723
貸倒引当金	△9,456	△9,467
投資その他の資産合計	125,503	201,255
固定資産合計	478,313	1,416,090
資産合計	1,906,888	2,818,075
負債の部		
流動負債		
買掛金	118,626	128,021
短期借入金	—	100,000
1年内返済予定の長期借入金	15,000	134,988
未払金	324,020	404,402
工事補償引当金	1,375	1,364
その他	140,875	111,907
流動負債合計	599,897	880,683
固定負債		
長期借入金	11,250	413,351
その他	137,839	154,081
固定負債合計	149,089	567,432
負債合計	748,987	1,448,116
純資産の部		
株主資本		
資本金	280,309	280,309
資本剰余金	200,309	200,309
利益剰余金	677,984	405,759
自己株式	△702	△23,393
株主資本合計	1,157,901	862,985
非支配株主持分	—	506,973
純資産合計	1,157,901	1,369,959
負債純資産合計	1,906,888	2,818,075

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年11月30日)
売上高	4,451,407	4,297,895
売上原価	2,544,057	2,470,021
売上総利益	1,907,349	1,827,873
販売費及び一般管理費	2,006,732	2,235,480
営業損失(△)	△99,382	△407,606
営業外収益		
受取利息	96	170
受取配当金	6	6
受取手数料	222	—
保険差益	271	1,428
助成金収入	—	13,804
その他	25	1,044
営業外収益合計	622	16,453
営業外費用		
支払利息	1,259	4,753
支払補償費	610	2,603
リース解約損	14	—
その他	545	1,946
営業外費用合計	2,430	9,302
経常損失(△)	△101,191	△400,456
特別利益		
固定資産売却益	17	19
特別利益合計	17	19
特別損失		
固定資産売却損	2	25
固定資産除却損	325	329
特別損失合計	328	355
税金等調整前四半期純損失(△)	△101,501	△400,791
法人税、住民税及び事業税	1,395	4,909
法人税等調整額	△28,686	△76,950
法人税等合計	△27,290	△72,040
四半期純損失(△)	△74,210	△328,751
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△56,526
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△74,210	△272,225

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
四半期純損失(△)	△74,210	△328,751
四半期包括利益	△74,210	△328,751
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△74,210	△272,225
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△56,526

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルスの感染拡大の影響による会計上の見積り)

当社グループは、新型コロナウイルスの感染拡大による経営成績等への影響が、当連結会計年度末に回復していくものと仮定し、固定資産の減損及び繰延税金資産回収可能性に関する会計上の見積りを行っております。

その結果として、当第3四半期連結会計期間において減損損失は計上せず、繰延税金資産は99,290千円計上しております。